

新宿に最大級バスターミナル

「乗り場 分かりやすく」

東京のJR新宿駅に直結する国内最大級のバスターミナル「バスタ新宿」が4日、開業した。ピーク時には高速路線バスの発着が1日最大1600便を超え、約4万人が利用する。タクシー乗り場



や観光情報施設も併設された一大交通拠点で、高速路線バスが39都府県との間を結ぶ、新たな東京の玄関口が誕生した。バス停車場は3、4階。3階にはタクシー乗降場と、東京都が運営する「東京観光情報センター」がある。2階の改札口からJR線に直接乗り換えられる。待合室や停車場は、多くの利用客で初日からぎわった。スーツケースを持った外国人観光客の姿も目立った。栃木からのバスで到着



した佐野市の会社員のるときによくバスを使用した男性(50)は「東京に来うが、乗り場や降り場が

「バスタ新宿が開業し、バスに乗り込む乗客4日午前、東京都渋谷区」

分かりづらかった。ここができて楽になるので、ありがたい」と話していた。

乗り入れる運行事業者は118社、ピークとなる

る夏の1日の発着便数は最大1625便で、いずれも日本一。朝や夜の集中する時間帯は、到着が6分間隔、出発も10分間隔の高頻度となる。

停車場はこれまで、新宿駅周辺の19カ所に散在

し、鉄道やタクシーとの乗り換えの不便さが指摘

されていた。一部の到着便は従来のバス停を使用した乗客待ちのタクシーの列がなくなり、混雑緩和や交通事故の減少につながるという。

東京観光情報センターでは、多言語での観光情報や宅配、無料WiFi(iWiFi)などのサービスを提供する。

3階のタクシーの乗降場には、30台分のタクシープールがある。甲州街